

2012年は こんな年に

あけましておめでとございませう。
みなさまはどんな新年をお迎えでしょうか。
今年男・年女のお二人に、
今年の抱負を語っていただきました。

息子と一緒に スポーツを

藤田直人さん
(谷地川)



「子供の頃からスポーツが好きで、小中学校では野球部に所属しながら、メインの部活動以外にも相撲や水泳、陸上、スキーなどいろいろやっていました。高校で入った陸上部では、顧問の先生が勧めてくれたことがきっかけで棒高跳びに取り組みました。自分の身長よりもずっと上を跳ぶので滞空時間も長く、空中で見える景色を心地良く感じていました。」

野球は見るのもやるのも好きで、社会人になった現在も地元のチー

ムと勤務先の両方で続けています。地元で所属しているチームは中学校の同級生達10数人集まって遊んでいたのが始まりです。チームを立ち上げる前から、みんなで集まって仙南村の村民野球大会に出場していました。それから『野球やるでえ』という話になり、仲間たちと一緒にチームを作って美郷町の町民野球大会や大曲仙北地区の大会などに出場しています。最近ではみんな仕事や家庭などで忙しくなってしまっただけで練習がなかなか出ない状況ですが、それでも『試合だ』となれば12、13人くらいが何とか都合をつけて集まって来ます。試合後の反省会が野球を続ける大きな楽しみになっていて、試合中はみんな『勝ちたい』という気持ちですが、その後は

勝っても負けても楽しく盛り上がっています。

野球のほかにバスケットボールもやっています。こちらは高校の同級生達の誘いで10年ほど前から始め、大仙市内の体育館で週1回ほど練習しています。部員は20人ほどで、どこかの大会に出るのではなく、何チームかで集まって自分たちで小さな大会のようにして楽しんでいます。野球にしてもバスケットにしても、いろんな人たちと交流できる機会になっています。

現在4歳になる息子がいますが、共働きということもあり、一緒にお風呂に入るなど自分が手伝えることは分担してやるようにしています。最近は息子もいるんなことを自分で出来るようになってきているので、野球でもスキーでも、そろそろやらせてみたいと思っています。

自分に出来ることを 自分のペースで

鈴木誠子さん
(中鎧田)

「趣味で手芸を続けていて、今は手芸サークルを開催しています。『くるみ絵』の注文を受けて準備し、日にちを決めて会館を借り、



みんなに集まってもらい、作品づくりに励みます。コツが分からなところはお互いに教え合っておしゃべりしながら手も動かして完成です。靴下やポーチなど、あまり難しくない小物も作るのですが、たまにはベストなども作ります。このサークル活動も自発的に始まったもので、自分が仕事を退職し、自由な時間が作れるようになってから開催しました。メンバーは12人で、近所の方々がほとんどです。近況報告をしながら、元気に声を掛け合って続けています。近所付き合いの一環といった感じかもしれません。

本格的に手芸をはじめたのは50歳を過ぎたころから。編み物だけは若いときからずっと続けていたのですが、もつと指先を使う物をやってみようと思っはじめてのがきっかけでした。仕事をしていたときも、同僚に手芸を教えてい

たことがありました。勤務先が病院だったので、みんな忙しかったのですが、夜勤までの時間を上手に使って1時間半くらいで完成できるような作品を何回かに分けて教えていました。夜にワイワイ話をしながら手芸できる時間があるというのは楽しいものでした。人数を確認して、布を買い、すぐに縫えるように裁断して準備していたものでした。昔からそういうのが好きだったんですね。入院している患者さんのために色んな物を縫ったこともあります。ベッドの柵用のカバーや、胃ろうの袋のカバーを作ったり、古いバスタオルで、寝たきり患者さん用のポンチョを作ったこともあります。同僚に子どもが生まれたときには、編んだものをプレゼントしたりもしました。自分で編んだセーターを身に着けていたら、『それを譲ってほしい』と頼まれ、寒空の下を自衣で帰ったこともあり、今では良い思い出です。

手芸のかたわら、グラウンド・ゴルフも好きで続けています。グラウンド・ゴルフも退職して時間が出てから、近所の人に誘われてはじめました。誘われてやってみたら楽しくて、『何か私に出来ることはないかな』とってはじめてのが、手芸サークルでした。

います。スキーなんかは「おっかない」を知らないうちに始めたほうが上達も早いので、自分が教えてあげられるようなスポーツに興味を持ってくれたら嬉しいですね。」